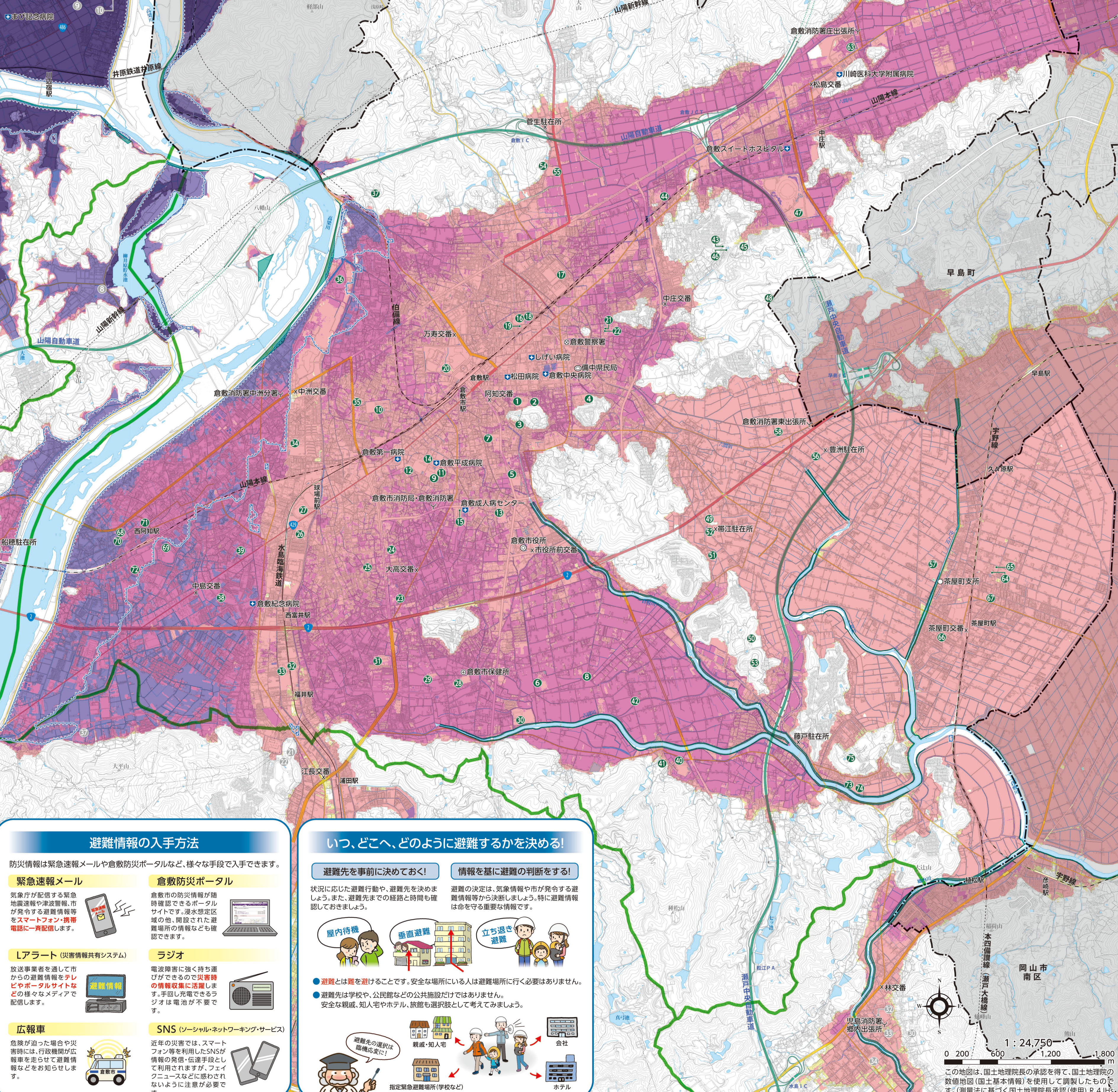


倉敷市 洪水浸水想定区域図 想定最大規模(L2)

倉敷地区 令和3年10月時点

- 凡例**
- (施設等)
 ● 指定緊急避難場所
 ● 指定避難場所(一覧参照)
 ● 指定緊急避難場所(他地区)
 ● 市役所 ● 市役所支所
 ● 県の機関 ● 消防
 ● 警察署 × 交番・駐在所
 ● 保健所 ● 救急告示病院
- (想定浸水深)
 10m以上
 5m以上10m未満
 3m以上5m未満
 0.5m以上3m未満
 0.5m未満
- (家屋倒壊等氾濫想定区域)
 河沖浸食
 氾濫流



避難情報の入手方法

防災情報は緊急速報メールや倉敷防災ポータルなど、様々な手段で入手できます。

- 緊急速報メール**
倉敷市が発信する緊急速報メールは、防災メールや防災ポータルなど、様々な手段で配信されます。
- 倉敷防災ポータル**
倉敷市の防災情報が掲載されているポータルサイトです。浸水想定区域図、避難場所、避難経路などの情報が掲載されています。
- アラート (出張情報共有システム)**
防災関係者を通じて市からの避難情報をテレビやポータルサイトなどの様々なメディアで配信されます。
- ラジオ**
防災関係者を通じて市からの避難情報をラジオの放送番組で配信されます。
- SNS (ソーシャルネットワークサービス)**
近年の災害では、スマートフォンやタブレットなどを利用したSNSが活用されています。TwitterやLINEなどにも避難情報などが配信されています。

いつ、どこへ、どのように避難するかを決める!

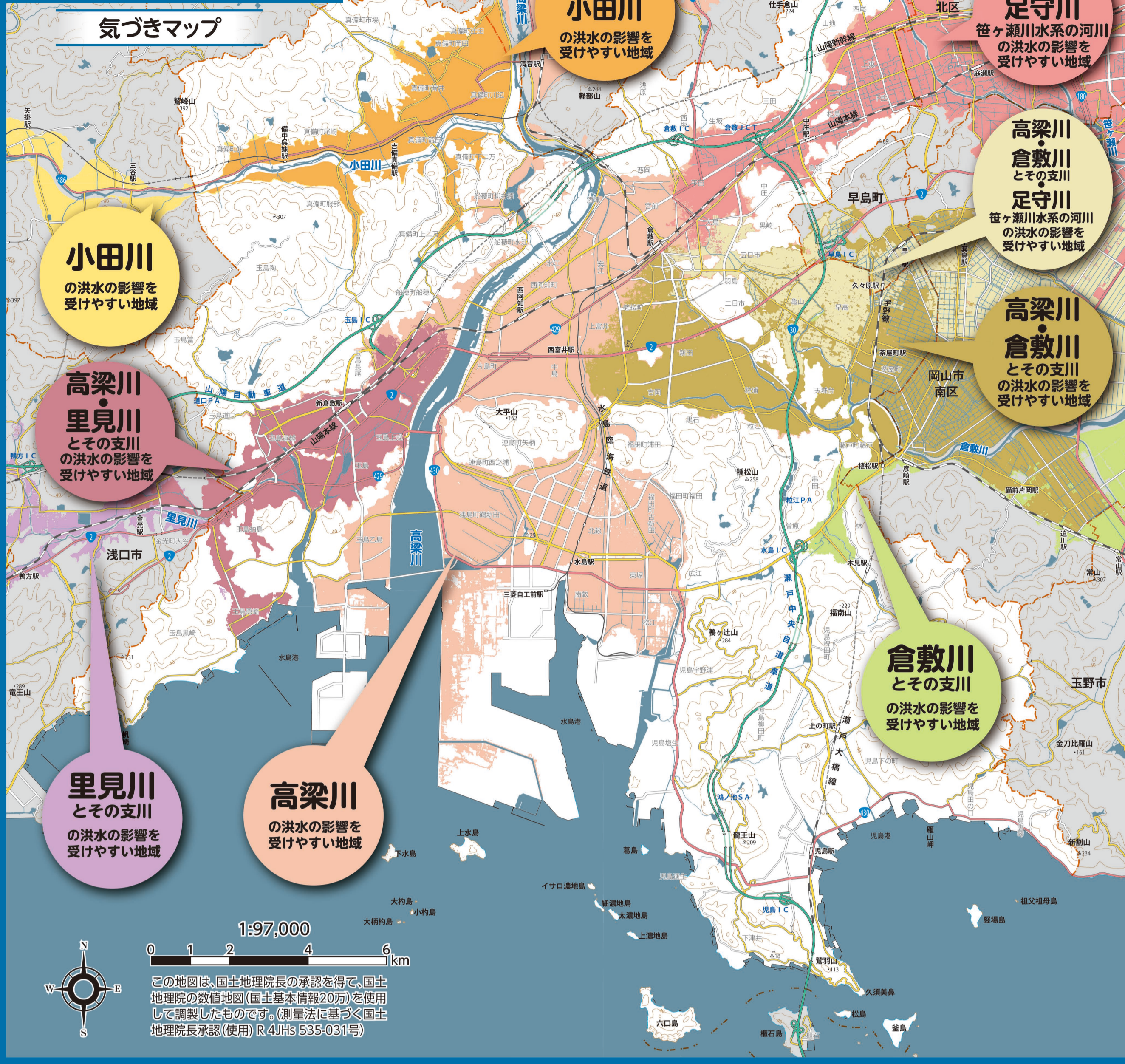
避難先を事前に決めておく!
状況に応じた避難行動や、避難先を決めましょう。また、避難先までの経路と時間も確認しておきましょう。

情報を基に避難の判断をする!
避難の決定は、気象情報や市が発令する避難情報等から判断しましょう。特に避難情報は命を守る重要な情報です。

● 避難とは命を守ることです。安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。
● 避難先は学校や、公民館などの公共施設だけがありません。安全な親戚、知人宅やホテル、旅館も避難先として考えてみましょう。

避難先候補地
 ● 避難先候補地
 ● 避難先候補地
 ● 避難先候補地

河川別浸水エリア図



① 災害発生危険性を5段階でお知らせします

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動をとりましょう。

警戒レベル	避難情報	気象庁情報	とるべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保 (倉敷市が発令)※	氾濫発生情報 大雨特別警報 など	災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
警戒レベル4	避難指示 (倉敷市が発令)	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など	速やかに避難行動をとりましょう。危険な場所から全員避難
警戒レベル3	高齢者等避難 (倉敷市が発令)	氾濫警戒情報 大雨警報 など	ご高齢の方、障がいのある方など、避難に時間のかかる方、その支援者は避難行動を。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	必ずしも、この順番で発表されることには限りませんのでご注意ください。	大雨注意情報 など	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1		早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

※可能な範囲で発令されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意してください。

② 気象庁からの注意報・警報

大雨・洪水注意報 大雨により災害が発生するおそれがあるときに発表されます。

大雨・洪水警報 大雨により重大な災害が発生するおそれがあるときに発表されます。

大雨特別警報 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。すでに災害が発生している可能性が高く、大雨特別警報が発令される前に避難することが重要です。

③ 計画規模(L1)と想定最大規模(L2)の違い

水系・河川名	高梁川水系		倉敷川水系	里見川水系	笹ヶ瀬川水系
	高梁川	小田川	倉敷川、郷内川、六間川、沙入川、吉岡川	里見川 道口川	笹ヶ瀬川 定守川
作成	国土交通省 岡山河川事務所	岡山県			
想定最大規模 (L2)	674mm /48時間	888mm /48時間	709mm /24時間	740mm /24時間	654mm /24時間
年超過確率*	1/1000未満				
計画規模(L1)	248mm /2日間	225mm /2日間	181mm /24時間	198mm /24時間	188.5mm /24時間
年超過確率*	1/150	1/100	1/100	1/70	1/100

*1年間にこの規模を超える降雨が1回以上発生する確率 避難行動については想定最大規模を念頭に行動を考えてください。

④ 倉敷市で避難情報が出たら

緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保!

浸水想定区域 我が家はA地区だ! しかしハザードマップでは浸水想定区域外、しかし情報収集は急がせ!

避難するタイミングを逃し外へ逃げることが危険な状態になってしまった。すでに自宅の少しでも安全な場所へ移動しよう! 浸水しにくい2階以上への移動だ!

倉敷市のA地区に洪水、B地区の山沿いに土砂災害に関する警戒レベル4避難指示が発令しました!

自宅が土砂災害警戒区域にあるから、避難しなくてはならない。安全な親戚の家に避難しよう!

土砂災害警戒区域

避難場所へ向かう経路は安全ですか? 移動中にも危険が伴います。万全の注意を!

避難経路の確認 土砂災害警戒区域等の危険な箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。また、家族や地域で話し合いながら、事前に避難経路を確認しましょう。

土砂災害にも注意 長時間雨が降り続いている場合には土砂災害に注意しましょう。外出する際には、山沿いに近づかないようにしましょう。

他にも... 強い雨の中での避難は危険! 早めに避難を。アンダーパスに気を付けて。徒歩や自転車、二人以上での避難。要配慮者等の避難に協力。高齢者・障がい者・病気がけがをしている方

外水氾濫と内水氾濫

外水氾濫 河川が増水して堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊することにより浸水すること。

内水氾濫 排水施設能力を超えて雨が降ることにより浸水してしまふこと。

避難場所へ向かう経路は安全ですか? 移動中にも危険が伴います。万全の注意を!

冠水している道は足元がどろんでいるかよく見えます。歩き慣れた道であっても、マンホールの蓋が外れているかもしれません。やむを得ず冠水している道を通る際は、杖のような棒を持って、足元の安全を確認しながら避難しましょう。

避難場所へ向かう経路は安全ですか? 移動中にも危険が伴います。万全の注意を!

大雨が降ると一気に河川の水位が上昇し、低い土地は浸水することがあります。浸水深が50cmを超えると歩行が困難になります。

雨量の増加によってもたらされる氾濫には川から水があふれたり堤防が決壊したりして起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わない「内水氾濫」の2タイプがあります。